



「正しく」書くこと

「～の文字はどの書き順が正しいんですか？」

「～」に当てはまるのはそれこそ大文字だったり小文字だったり、例えば"i"だったりします。このような質問は、特に心配性な親御様から受けることがよくあります。私達がワークシートに使用している文字のフォント（字体）を気にされる方も時々いらっしゃいますね。普段、子供達がテキスト等で触れているものと同一ではないことがありますから。

日本は細部までよく気が付くことで知られていますし、実際、様々な場面でその気質が役立っていると思います。それこそ技術から書、料理まで、その緻密さは高い評価を受けていますね。細やかな気配りは本当に素晴らしいものですが、それも度が過ぎると良くないこともあります。「木を見て森を見ず」と言うでしょう？小さいことにあまりにこだわると、大局を見失ってしまうかもしれません。

人間の言葉は、まず口頭でやり取りをするためのものとして生まれ、発達してきました。言語は音声学的に成り立っており、いつも一番大切なのは口語コミュニケーションの能力です。歴史的にも、読み書きはその後に来るものでした。もちろん、今このご時代に読み書きは必須です。しかし、しっかりとした「話す」ことの基礎がなければ、読み書きも効果的に学習できません。そして、実際に誰かと面と向かってコミュニケーションを取る際にも、現実的な支えになってはくれないでしょう。

ENGLISH NOW!では英語を「話す」技術の向上を優先させており、それを支える意味で読み書きを導入しています。「読む」「書く」力ももちろん欠かせないものですが、それが最終目的ではありません。

アメリカの学校は、日本と比較すれば驚くほど「書き順」というものに注意を向けません。判別可能でさえあれば、大抵の先生は文句を言わないものです。アルファベットを書く練習をするためのワークはごまんとありますが、実のところ、それぞれの本で紹介されている書き順が同じでないこともあるのです。特に"M"や"H"に関しては。

では、どれが「正しい」のでしょうか？

そのどれもが正解であり、特に思い悩む必要はありません。同様に、学校では小文字を"a"や"g"のように習いますが、実際の読み物で登場する際には"a"や"g"という形で表されることもよくあります。矛盾しているように思われるかもしれませんが、やっぱりアメリカ人はこれで困ることはないのです。

ENGLISH NOW!では、まだきちんと書くことに慣れていない、特に小さな男の子達に、きれいな文字を書くよう強く押し付けたりはしません。往往にして、男の子の字が上達するには女の子よりも時間が掛かるものです。直接親御様に説明を差し上げたこともありますが、これはごく自然なことなんです。男の子達はきちんと字を書けるようになるまで何年か掛かることがよくありますが、それでも最終的にはちゃんと会得できるものです。雑になってしまったところを丁寧に教えることはあっても、私達はきれいに書けないことを叱ったりはしません。

しかし逆に、発音やフォニックスは厳しく指導しています。発音は言語の核とも言えますし、一方でフォニックスは将来英語を効率よく読む上で必要不可欠な要素です。今後、何をどれだけ学べるかはこの二つの技術に大きく因ることでしょう。

そして「書き」を始める際、私達はまず小文字から導入します。テキストをご覧いただいてもお分りの通り、出てくる頻度が圧倒的に高いのは小文字です。大文字から勉強しても大して得ることはありません。

いずれの言語もその「音」が中心になっており、そして英語では音声学的に基づいたアルファベットが使われています。私達は皆さんに英語で有意義なコミュニケーションを取れるようになってもらいたいと考えています。そして、しっかりとした英語の音の基盤を築いてもらうことこそ、飛躍的な上達に繋がっていくと確信しています。

Jacques Saffell



Cafe information!

カフェのお知らせ

●Coffee Beans!!

エスプレッソドリンク用のコーヒー豆が変わりました！
これまで以上の深みがでコーヒーそのものの味をより堪能いただけます！！ミルクやシロップとの相性も抜群です！

●Hazelnut Mocha

12月といえばクリスマス！ということで、この季節にぴったりの新商品、ヘーゼルナッツモカの登場です！
寒いこの時期にホッと一息つけるような、ふんわり甘いドリンクに仕上がっています。是非、お試しください！



School Information

スクールからのお知らせ

●Winter Holiday

12月22日(日)から1月5日(日)まで、当校は冬休みを頂きます。2014年は1月6日(月)よりレッスン開始となります。ご確認下さいませ。

なお、この間に頂いたご連絡へのお返事も1月6日以降となる場合がございます。ご不便をお掛けしますが、何卒ご了承下さいませ。

皆様どうぞよいお年をお迎え下さい。